

第3次高知県食の安全・安心推進計画(数値目標達成状況)

資料2-1

		参考 (平成27年度)	参考 (平成28年度)	平成29年度	平成30年度 (4.1~6.30まで)	平成31年度	平成32年度	目標値 (平成33年度)	備考	
1 生産から消費に至る食の安全・安心の確保	①安全・安心な農産物(林産物を含む)の生産及び供給	農薬の適正使用指導	農薬取締法違反による出荷の自粛	2件	0件	0件	0件	0件		
			防除履歴の記帳率(農協生産部会に属する野菜農家)	96%	97%	—	—	100%		
			マイナー作物の農薬登録データの作成	10件/年	5件/年	3件/年	実施中	3件/年		
		環境保全型農業の推進	「こうち環境・安全・安心チェックシート(集出荷場版)」に取り組む出荷場数	50/74 (68%)	64/73 (88%)	68/71 (96%)	実施中	74/74 (100%)	対象をJA→集出荷場に拡大	
			虫害IPM技術の普及率	キュウリ:33% カンキツ:7%	キュウリ:38% カンキツ:12%	キュウリ:40% カンキツ:13%	実施中	キュウリ:80% カンキツ:40%	新	
			病害IPM技術の普及率	ナス:0%	ナス:6%	ナス:10%	実施中	ナス:80%	新	
	②安全・安心な畜産物の生産及び供給	産業動物診療獣医師に対する指導率		100%(11名)	100%(11名)	100%(11名)	実施中	100%		
		畜産農家に対する飼料添加物等の適正使用の指導率		100%(341戸)	100%(332戸)	100%(309戸)	実施中	100%		
		牛の飼養農家に対する耳標装着等の指導率		100%(258戸)	100%(257戸)	100%(242戸)	実施中	100%		
		自衛防疫実績(ワクチン接種)		牛:5,026頭 豚:112,035頭 鶏:1,247,370羽	牛:5,381頭 豚:145,165頭 鶏:1,605,600羽	牛:5,182頭 豚:153,679頭 鶏:1,499,500羽	実施中	牛:3,000頭 豚:85,000頭 鶏:1,200,000羽		
		高病原性鳥インフルエンザ監視(立入検査)		養鶏農家全戸	養鶏農家全戸	養鶏農家全戸	実施中	養鶏農家全戸		
		高病原性鳥インフルエンザ監視(モニタリング)		930羽	1,020羽	910羽	実施中	720羽以上		
	④生産出荷段階における農畜水産物の監視及び検査	農産物の残留農薬検査	生産・出荷段階での残留農薬検査数	県:50検体 農協:2,000検体	県:50検体 農協:2,000検体	農協:1,142検体	実施中	農協:2,000検体	県の検査は平成28年度で終了	
		BSE検査	死亡牛に対するBSE検査	48か月齢以上の死亡牛全頭(156頭)	48か月齢以上の死亡牛全頭(170頭)	48か月齢以上の死亡牛全頭(195頭)	48か月齢以上の死亡牛全頭(37頭)	48か月齢以上の死亡牛全頭	法改正により、平成27年度から24→48か月齢に引上げ	
		貝毒発生モニタリング検査	貝毒検査:延べ35回 プランクトン検査:延べ104回	貝毒検査:延べ38回 プランクトン検査:延べ108回	貝毒検査:延べ44回 プランクトン検査:延べ143回	実施中	継続実施			
	(2)製造・加工・販売段階における安全・安心の確保	①HACCPによる自主管理体制の推進及び支援	HACCP導入型基準の施設数		—	51施設	106	122	320施設	新
			食品衛生監視員のうち、HACCPに係る助言等を行う食品衛生監視員の割合		33名/56名(58.9%)	42名/57名(73.7%)	34名/59名(57.6%)	35名/59名(59.3%)	食品衛生監視員の2/3以上	新
		②食品営業者及び製造施設等に対する監視指導	食品衛生監視指導計画の監視指導達成率		119%	115%	130%	31%	100%	
			食品衛生指導員による食品営業施設の巡回指導件数		41,084件	39,159件	40,046件	実施中	42,000件	
		③食中毒予防	(再掲)食品衛生監視指導計画の監視指導達成率		(再掲)119%	(再掲)115%	(再掲)130%	(再掲)31%	(再掲)100%	
食品等事業者を対象とした食品衛生に関する講習回数			300回(平成23~27年度の平均)	305回	325回	78回	300回以上			
消費者を対象とした食品衛生に関する講習回数			88回(平成23~27年度の平均)	76回	73回	20回	90回以上			
食中毒発件数			4.4件(平成23~27年の平均)	11件/年	10件/年	11件/年	減少させる	食中毒は年次統計		
④流通食品の検査	食品衛生監視指導計画に基づく食品の検査率		98%	100%	115%	27%	100%			
	(5)認証制度の推進	農産物及び生産者の取り組み		131ha	140ha	—	—	(平成31年度)284ha	新	
加工食品及び食品関連施設		—	43社44施設(51業種)	100社106施設(119業種)	113社122施設(138業種)	320施設	新 重複を除く			

			参考 (平成27年度)	参考 (平成28年度)	平成29年度	平成30年度 (4.1~6.30まで)	平成31年度	平成32年度	目標値 (平成33年度)	備考
2 食品に関する正確な情報の提供	(1)適正な食品表示の確保	①関係法令に基づく食品表示の監視指導	関係機関による合同の食品表示監視指導回数	13回	10回	12回	4回		15回	
			食品表示ウォッチャーの数	20名	20名	20名	20名		20名	
		②食品表示に関する普及啓発	関係機関による合同の食品表示研修会回数	5回	6回	4回	3回		5回以上	
			食品関連事業者を対象とした食品表示に関する講習回数	—	288回	130回	39回		330回以上	
			消費者を対象とした食品表示に関する講習回数	—	12回	16回	1回		20回以上	新
3 食の安全・安心を確保するための相互理解と信頼関係の確立	(2)食育の推進	食育に関心を持っている県民の割合		—	54%	—	—		(平成29年度) 95%以上	第2期食育推進計画の目標値
		土佐の料理传承人(組織及び個人)による郷土料理伝承講座		2回/年	3回/年	3回/年	—		3回/年	数値目標を人数から回数に変更
		朝食を必ず食べる児童生徒の割合		(男子)(女子) 小学生 87%、88% 中学生 82%、81% 高校生 78%、79%	(男子)(女子) 小学生 86%、85% 中学生 80%、79% 高校生 78%、82%	(男子)(女子) 小学生 85%、86% 中学生 81%、79% 高校生 76%、83%	—		(平成29年度) 小学生 95%以上 中学生 90%以上 高校生 85%以上	第2期食育推進計画の目標値
		学校給食における地場産物の活用(食品ベース)		32.6%	33.9%	37.0%(速報値)	—		50%以上	
	(3)食の安全・安心に取り組む農林水産物のPR及び支援	県内における農林水産物直販所への「安心係」配置割合		89%	87%	88%	—		100%	
	(4)行政、食品関連事業者、消費者間の情報及び意見の交換、相互理解	意見交換会(リスクコミュニケーション)の開催		9回	7回	10回	3回		10回以上	